

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【公開番号】特開2006-124092(P2006-124092A)

【公開日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2006-019

【出願番号】特願2004-314105(P2004-314105)

【国際特許分類】

B 6 5 H 29/70 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 29/70  
G 0 3 G 15/00 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月25日(2007.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シート材の搬送方向と交差する直線上に複数の回転部材をシート材の表裏で互い違いになるように対向して配置したシート材搬送手段を備え、前記シート材搬送手段をシート材の搬送方向に沿って複数続けて配置したことを特徴とするシート材搬送装置。

【請求項2】

前記シート材の搬送方向に沿って配置した複数のシート材搬送手段は、シート材の表側、及び裏側の各々において、上流側のシート材搬送手段の回転部材と下流側のシート材搬送手段の回転部材とがシート材の搬送方向と直交する方向で、同一位置になるように配置されていることを特徴とする請求項1に記載のシート材搬送装置。

【請求項3】

前記シート材搬送手段は、直線状のシート材搬送路上に複数配置されていることを特徴とする請求項1または請求項2に記載のシート材搬送装置。

【請求項4】

シート材に画像を形成する画像形成部と、シート材を搬送するシート材搬送装置として、請求項1から請求項3のいずれか1項に記載のシート材搬送装置とを備えていることを特徴とする画像形成装置。

【請求項5】

前記画像形成部にて形成された画像をシート材に定着させる定着装置を有し、前記定着装置よりもシート材搬送方向下流に前記シート材搬送装置を配置したことを特徴とする請求項4に記載の画像形成装置。

【請求項6】

画像形成装置本体に対して着脱可能なシート材処理装置を有し、前記定着装置よりもシート材搬送方向下流に配置した前記複数のシート材搬送手段のうち、少なくとも1つのシート材搬送手段を前記シート材処理装置に設けたことを特徴とする請求項5に記載の画像形成装置。